

令和2年（2020年）6月18日

農作物生育・技術情報 3号

日高農業改良普及センター日高西部支所
JAびらとり JA門別町

1. 水稻生育状況（6月15日現在）

品 種	生 育 状 況		
	項 目	R2年	平 年
ななつぼし	草丈 (cm)	29.5	29.0
	葉数 (葉)	6.4	6.3
	茎数 (本/m ²)	156	129
	分けつ始 遅速日数	6月9日 +1	6月10日 -

5月末～6月上旬の好天により、生育は進み、分けつも多くなっています。

しかし、移植直後の低温等により植え傷みが発生したほ場では分けつの遅れが見られますので、浅水+止め水管理で水温を高め分けつを促しましょう。

技 術 対 策

- ・ワキが早くから発生しているため、場合によっては水田の中干し(5～6日間)を行う。その場合、水田の表面に軽く亀裂が入るまでしっかり行う。
- ・中干しは幼穂形成期までに終了させる（平年7/6頃→本年7/4～5?）。
- ・差し苗用の置き苗が散見される。いもち病の発生源となるので直ちに除去する。

2. 主要野菜の生育状況

作 物 名	生 育 状 況	技 術 対 策
トマト	3月定植：2～4段目収穫中 4月定植：1～2段目収穫中 5月定植：4～5段花房開花 <病害虫、生理障害> ・灰色かび病、萎凋病、半身萎凋病 かいよう病、日焼け果、軟果、尻とがり果が一部で見られる。 ・4～6段花房付近で加里欠、がく枯れ見られる。	・茎葉の過繁茂は、灰色かび病を誘発するので、ベットの内側を中心に摘葉し、適宜薬剤散布を行う。 ・草勢が衰えないように、必要に応じて追肥・かん水・葉面散布等を行う。 ・加里は窒素量の2倍施用する。
ハウス軟白ねぎ	・2月定植収穫中。 ・タマネギバエ、ハモグリバエ類、アザミウマ類が見られる。	・ハウス周辺の除草、残渣の処理を徹底する。 ・粘着板を設置し、アザミウマ類（青）、ハモグリバエ類（黄）の早期防除に努める。
アスパラガス	・立莖期。	・灰色かび病防除のため株を軽くゆすり、花かすを落とす。 ・ハウス内湿度を高めないように換気に努める。 ・ハウス周辺の除草を行う。

* 日高管内でネギアザミウマに対する合成ピレスロイド系薬剤の抵抗性が確認されました。今後は、合成ピレスロイド系薬剤の連用を避け、ローテーション防除を行いましょう。

3. 牧草生育状況（6月15日現在）

作物名	生育状況				摘要	
	項目	R2年	平年	出穂期		
牧草	草丈	85.2cm	92.0cm	6/11(6/12)	+1	降水量が少なく、草丈が低い
デントコーン	草丈 葉数	33.4cm 5.2葉	25.0cm 4.8葉		+2	生育は平年並みに進んでいる

※牧草の出穂状況を観察し、適期刈り取りを行いましょ。収穫後は追肥しましょ。

※デントコーン圃場では雑草が伸びています。早めの除草剤処理を行いましょ。

○草地更新を計画的に進めましょ（リードカナリーグラス（RCG）が多い草地例）

- ①一番草収穫後、雑草の再生を待つ（約30～40日）。目安：RCG草丈 60cm程度
- ②グリホサート系薬剤散布し、10日以上枯殺期間を確保する。不十分な薬効や散布ムラがあったら、速やかに再散布。
- ③牧草の播種床を作る（耕起→整地→**鎮圧**）。
- ④雑草の発生（実生）を待つ。（30日以上を確保） 目安：雑草草丈20～30cmになるまで
- ⑤グリホサート系薬剤散布し、散布当日～10日以内に、施肥・播種・鎮圧しましょ。

4. 畑作

(1) ばれいしょ

- 培土 着蕾始～着蕾期に行います（萌芽期から約3週間後、草丈25cm程度）。遅れるとストロンの切断を招き、収量が大きく低下します。
- 疫病 疫病は着蕾期以降から発生が見られ、降雨による多湿で蔓延しやすくなります。予防に努めましょ。

(2) てんさい

- 根腐病 6月下～7月上旬までに予防的に薬剤散布しましょ。
- ヨトウガ **食害を受けた株が見られたら防除を開始しましょ。**
*詳細は北糖の「てんさい栽培技術情報」をご覧ください。

(3) 秋まき小麦

○アブラムシ類

出穂10日目に穂を観察し、2本に1本の割合でアブラムシが寄生していれば防除して下さい（基準は1穂当たり7～10頭）。

(4) 大豆、小豆

定期的に中耕作業を行い初期生育の促進に努めましょ。
中耕作業は花芽分化前の7月上旬までに終了します。

5. 6～8月は「農薬危害防止月間」です！

○病虫害・雑草の防除に使用する薬剤は、農林水産省登録の薬剤に限ります。

容器に「農林水産省登録〇〇号」の記載があるので、必ず確認しましょ。

○使い慣れた農薬であっても必ず「令和2年度 防除ガイド」と「農薬ラベル」を確認しましょ。

- ・適用作物
- ・使用時期（収穫前日数）
- ・希釈倍数、量
- ・成分ごとの使用回数
- ・使用期限

○農薬の飛散防止に努めましょ。



ラベルで確認